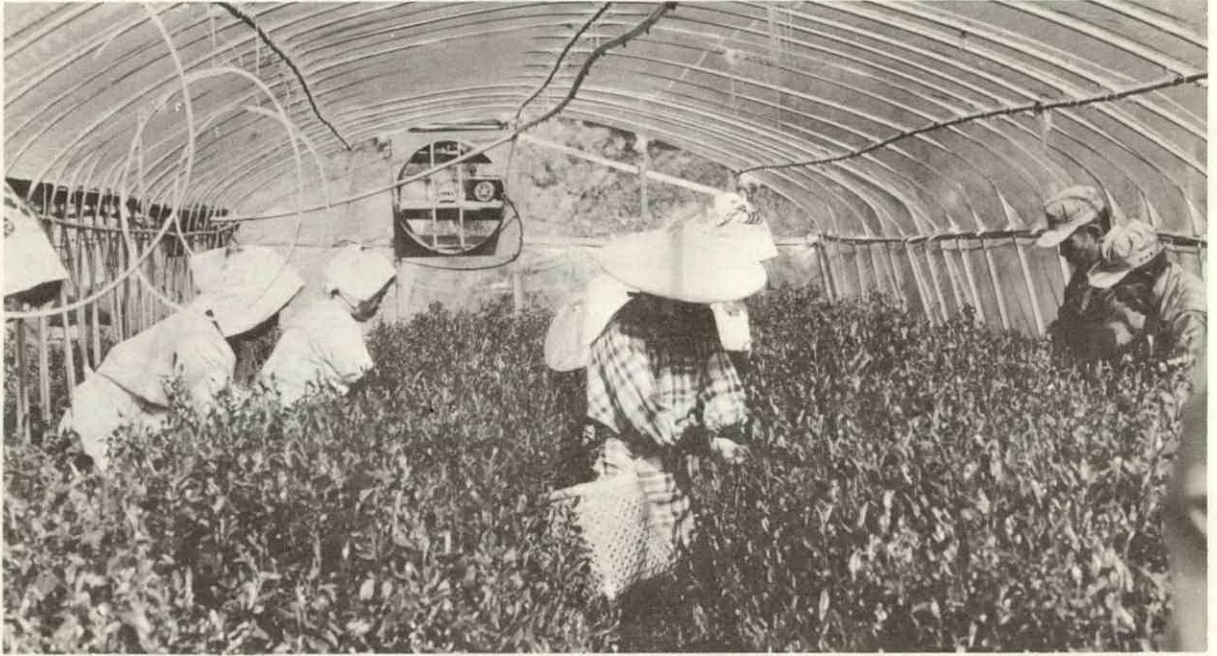


わ 広報 わたらい



ハウス栽培茶の摘取り(平生で)

ビニールハウスで 一番茶のつみとり始る

※八十八夜まで1ヵ月もあると云うのに、度会茶研究会(福井孝文会長、会員35人)では、促成栽培による一番茶のつみ取りが去る3月3日平生のビニールハウス共同茶園で行なわれました。

このビニールハウスは、鳥羽平悟さん(平生)所有のもので4年前から茶の促成栽培に取り組んで成功したことから、研究会の人たちが昨年からはじめたもので、茶園の広さは約4アール、寒さがきびしくなった1月中旬から周囲をビニールでかこい、暖房を入れ、日中は25度、夜間でも最低5度に保温しながら育てたものです。

茶つみには、会員やその家族ら約30人が出て、新芽をひとつずつたんねんにつみ取り、1日生茶で50キロほどをつみました。つみ取ったお茶は、即日製茶工場加工され大阪方面へ出荷されましたが、お茶は早ければ早いほど値段が高くキロ当り14,000円から15,000円ぐらいになると会員たちも楽しみにしています。

露地ものは普通5月上旬に茶つみがはじまりますが、今年は天候に恵まれていまのところ作柄も好調でこのあと晩霜さえ降らなければ豊作まちがいなしと会員の人たちは順調な天候をねがっております。※

(第1回定例町議会)

どう使われるか今年の予算 総額 4億725万円の大型



「度会町自然保護条例」「統合中学校建設積立基金条例」も可決

予算関係

昭和47年度第1回定例町議会は、去る3月11日に招集され、開会を17日までの7日間とし、執行部から提出された議案の審議がされました。

提出された議案は予算関係五件条例関係19件の計24件でいずれも慎重審議の結果原案どおり可決承認されました。

このなかには、県下では数少ない「度会町自然保護条例」と「統合中学校建設積立基金条例」をはじめ、新年度の一般会計予算は3億2,980万円と町はじまって以来の大型予算となり、特別会計の7,745万円をあわせて総額で4億725万円と昨年度に比べて3,784万円の増額となっております。

とくに今年の、新年度予算は町総合開発計画の推進を旗印に、更に大きく飛躍するための長期計画確立の足固めの年として、子どもに夢を、青年に希望を、婦人に生活環境を、大人に豊かな暮しを、そして地方自治の機能を高めることを理想にかかげて編成されております。

その方針は、

- 1、町民の福祉向上
- 2、産業基盤の整備
- 3、町(県)道路の整備促進
- 4、教育施設の充実
- 5、町総合開発計画の推進

この五項を施政方針の柱としております。

以下、町長の施政方針のなかで予算と直接関連するものを中心に、その内容のあらましをご紹介します。

国、県から6,100万円 依存財源は78.8%

町予算は、何んといっても町民の方々に納めてもらう税金が基礎ですが、収入のうち国と県から交付金や補助金として入ってくる額は、6,100円で収入予算の18.5%を占めています。

さらに、長期借入金などを含めた、いわゆる依存収入は2億5,900万円とな

り収入予算の78.8%近くを占めています。ということは町独自の収入は7,000万円で収入予算の21.2%ぐらしかないとということです。これだけでも本町の台所は大変苦しいということがおわかりになると思います。

町独自の収入のうち、町税は4,400万円で収入予算の13.3%を占めていますが、この割合が大きければ大きいほど財政が豊かな町といわれます。

この町税のなかには、別表で解るように八科目に分けられており、町税については自然増で差引480万円の増額を見込んでいます。

町税収入の内訳

収入科目	金額	比率
町民税	11,614 <small>千円</small>	26.3%
固定資産税	17,451	39.5
軽自動車税	3,899	8.8
たばこ消費税	7,000	17.2
電気ガス税	3,460	7.7
木材引取税	201	0.5
鉱産税	2	—
旧法による税	1	—
計	44,668	100.0

投資事業におおきな伸び

を示しています

ことしの本町の予算が、「大型予算だ」といわれる訳は、過去の一般会計町予算をみてもよく理解できます。

昭和43年	1億3,827万円
昭和44年	1億7,374万円
昭和45年	2億5,683万円
昭和46年	2億9,794万円

というのがいままでの当初予算だからです。

昨年度と比較しても10.7%、3,186万円の増、昭和43年に比較しますと実に2.3部となっております。

しかし、予算規模がどんなに大型化

しても、それをどのように使うかということが一番大切なことです。以下支出についての主な仕事をご説明いたします。

昭和47年度目的別一般会計予算

★ 予算額 3億2,980万7千円

◇ 割合 100%

◎ 町民一人当たり38,470円

(47.3.1現在の人口で計算)



1 議会費

★ 1065万1千円

◇ 3.2%

◎ 1.242円



2 総務費

★ 4399万7千円

◇ 13.4%

◎ 5,132円



3 民生費

★ 5095万2千円

◇ 15.5%

◎ 5,932円



4 衛生費

★ 2878万6千円

◇ 8.7%

◎ 3,357円



5 農林水産業費

★ 3127万9千円

◇ 9.5%

◎ 3,650円



6 商工費

★ 70万6千円

◇ 0.2%

◎ 82円



7 土木費

★ 7040万7千円

◇ 21.4%

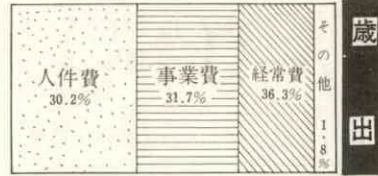
◎ 8,213円

	8 消防費 ★ 865万9千円 ◇ 2.6% ◎ 1,010円
	9 教育費 ★ 4491万6千円 ◇ 13.7% ◎ 5,239円
	10 災害復旧費 ★ 1613万円 ◇ 4.8% ◎ 1,881円
	11 公債費 ★ 1553万7千円 ◇ 4.7% ◎ 1,813円
	12 諸支出金 ★ 728万円7千円 ◇ 2.2% ◎ 850円
	13 予備費 ★ 50万円 ◇ 0.1% ◎ 58円

ことしのおもな事業
町道整備に3,000万円

— 消防ポンプ自動車を購入 —

- ◇民生費……老人医療費 505万8千円
(昭和48年1月1日からは73歳に引上げを検討)、同対策費 831万7千円
(地方改善施設整備事業野谷線工事費)
- ◇衛生費……塵芥処理施設工事費1,900万円、塵芥収集車及不燃物処理機械購入費252万円、
- ◇土木費……町道防塵舗装工事代2千万円、麻加江注連指線工事費8,800万円川南線改良工事費代1,900万円、井戸ヶ瀬橋測量委託100万円、町道改良工事費1000万円、県道改良附帯工事費100万円、道路排水路整備工事費100万円、
- ◇消防費……消防ポンプ自動車購入費260万円、防火用水事業費2,500万円
- ◇教育費……小学校維持補修工事費1,500万円、中学校維持補修工事費1,300万円
- ◇災害復旧費……46年災林道災害復旧工事費300万円、46年災河川災害復旧工事費990万円、



自己財源21.2%	依存財源78.8%
町税 13.4	地方交付税 49.4
国庫支出金 13.3	県支出金 5.7
その他 7.8	その他 1.8

昭和47年度一般会計、特別会計予算一覧表

会計別	47年度予算額	46年度当初予算額	比較	伸率
一般会計	329,807,000	297,941,000	31,866,000	11.0
特別会計				
国民健康保険事業	62,089,000	57,455,000	4,634,000	10.8
母子健康センター事業	3,991,000	3,537,000	454,000	11.2
簡易水道事業	378,000	359,000	19,000	10.8
農業共済事計	10,987,000	10,115,000	872,000	10.8
合計	407,252,000	369,407,000	37,845,000	11.0

条例関係

- ◇度会町報酬および費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
- ◇投票管理者等の報酬に関する条例の一部を改正する条例
- ◇度会町選挙管理委員会の事務に従事する従事員に対する費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- ◇度会町区事務費補助に関する条例
- ◇度会町医師手当支給条例の一部を改正する条例
- ◇度会町消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の一部を改正する条例
- ◇度会町農業共済条例の一部を改正する条例
- ◇度会町交通安全対策協議会設置条例の一部を改正する条例
- ◇税外収入金に係る督促手数料及び延滞金徴収条例
- ◇度会町母子健康センター設置条例の一部を改正する条例
- ◇度会町母子健康センター運営に関する給付条例の一部を改正する条例
- ◇度会町自然保護条例
- ◇度会町統合中学校建設積立基金に関する条例

統合中学校
積立基金条例について

町民のみなさんが、いちばん関心と期待をよせている統合中学校建設の準備が教育委員会事務局で進められ、区長会、各地区懇談会などを通じて、町民の皆さんの意向を聞き慎重に検討されておりますが未来をにう子どもたちのためにも、町内の四校を統合し近代的な建物、教育水準の向上、理想とする教育環境の整備などこれからも慎重に進めて行くことになりました。

町では去る3月17日の定例町議会において「度会町統合中学校建設積立基金に関する条例案が可決され、向こう2年間で一般会計の郵余金半分を基金として積立て、学校統合の準備基金にすることになりましたので、町内の皆さんのご理解、ご協力をお願いします。

陳情書

- ◎脇出地内の中学校バレーコートまでの町道改修について
- ◎川上地内筒瀬山に通ずる林道改修について
- ◎市場地内河川の修理について
- ◎市場地内田県道の舗装について
- ◎ワンダ川の災害復旧について
- ◎河川保護について
- ◎排水路改修について
- ◎度会町森林組合事務所経費について

その他

- ◇度会郡公平委員会規約の一部を改正する規約
- ◇共済金額の選択について
- ◇農業共済事業事務費の賦課総額及び賦課単価について
- ◇選挙管理委員及び補充員の選挙について

一般質問のあらまし (以下質問順)

西村議員

- (1) 中学校統合と度会分校独立について
- (2) 自然保護育成と環境美化について
- (3) 町道の補修と改修について
- (4) 新町道開発について
- (5) 保育所対策と今後の措置について

山下議員

- (1) 農道改良について
- (2) 広域市町村圏協議会について
- (3) 文化財の保護について

西井議員

- (1) 農免道路第2期工事の進め方について
- (2) 度会分校独立校の運動方針について

- (3) 中学校統合による通学道路の早期実現について

鈴木議員

- (1) 交通安全対策について
- (2) 土木工事の監督方法について
- (3) 畜犬の取締まり状況について

中嶋議員

- (1) 土木事業の早期着工を図ることについて
- (2) 中学校統合の予算措置について

中廣議員

- (1) 井戸ヶ瀬大橋の架橋と奥地開発構想について
- (2) 伊勢志摩地区広域市町村圏協議会の

活動状況について

- (3) 産業振興(淡水魚養魚)の計画があると聞くがどうか

中西議員

- (1) 町総合開発計画の策定内容について
- (2) 町の産業施策面について

南出議員

- (1) 中学校統合積立金について
- (2) 第一連絡所の措置について

杉本議員

- (1) 過疎と地域開発について
- (2) 度会町特産茶(茶田地育成一之瀬地区)の振興計画について
- (3) 老人対策について

北村議員

- (1) 津法務局度会出張所の存続について
- (2) 小川郷駐在所の復活について
- (3) 児童グループの活動と指導方法について

議会だより

- ▶ 2月9日産業土木常任委員会
- ▶ 2月14日教育民生常任委員会
- ▶ 2月15日総務財政常任委員会
- ▶ 2月16日町議会全員協議会、勢和村

のゴミ処理場視察

- ▶ 2月17日明野高校度会分校特別委員会
- ▶ 2月21日26日伊勢度会環境衛生組合議会、広議長出席
- ▶ 3月1日度会郡町村議会議長会、広議長出張
- ▶ 3月3日三重県町村議会議長会研修

会、広議長、杉本副議長、山中事務局 長出張

- ▶ 3月8日南島小学校屋内体操場落成式、広議長出張
- ▶ 3月11日から17日まで、第一回定例町議会開会
- ▶ 3月23日教育民生常任委員会、海山町のゴミ処理場視察

5月1日 度会町 小川郷 両農協が合併

予備契約書に調印

度会町農協(村山正男組合長)、小川郷農協(中川良三組合長)は去る2月2日町役場で関係者立ち合いのもと両農協の合併予備契約書に調印をしました。

これは昨年から度会町農協合併研究会をもうけて再三にわたり協議をかさねてまいりましたが、その後浜岡町長が中心となり両組合の役員代表、県伊勢農業事務所、県農協中央会伊勢支所

等で、度会町、小川郷両農協合併推進協議会を設け、合併の基本方針、合併契約の基本となるべき事項など具体的に検討されてきたものです。

尚、合併の構想は次のとおりとなっています。

①合併の方法は

小川郷農協が解散して、度会町農協に吸収合併とします。

②出資は

小川郷農協組合員の出資金は度会町農協に対する出資金に引当てるものとし、その持口は度会町農協の出資一口金額に満たない端数が生じたときは合併許可のあった日から2週間以内に払い込むものとします。

③確認日

財務の確認日は昭和47年2月29日とし、以後における資産と負債の変動については、別に計算書を作成します。

④合併予定日

昭和47年5月1日発足します。

⑤職員の引継

- (イ) 小川郷農協に在職する職員は原則として新組合に引継ぐものとします。
- (ロ) 職員の給与は度会町農協に引継いだ後度会町農協の給与規程により昭和49年5月1日の間で調整されます。
- (ハ) 退職給与金は度会町農協に引継ぎません。



予備契約書調印に立合う浜岡町長………

農家の皆さん

昭和47年産米の生産調整が

目標数量 350トン } に決まりました
 (限度数量) 594トン }
 (政府買上げ)

昭和47年産米の生産調整目標数量の各市町村割当が確定し、本町は昨年より4トン多い350トンの割当となりました。これは去る2月24日米生産調整推進協議会を開催し、個人別調整目標数量および政府買上げ限度数量の配分方法について審議願ひ、昨年同様実績割50%、生産量割50%の割で配分されることに決まり、去る3月7日~10日地区別区長の参集を得て協議会を開催部落別目標数量とこれに伴う対象農家別の目標数量を内定しました。

そしてこれをもとに各部落別に対象農家の水田面積の増減等実情をご検討願っておりますが、おって対象農家へ売渡目標数量をお知らせするとともに「生産調整および稲作転換実施計画書」を提出していただくこととなりますので、各農家の一層のご協力をお願いします。

▼生産調整対象農家

原則として過去3ヵ年(42、43、44年)のうち、水稻の政府売渡実績のある農家、ただし売渡実績のない農家が行なった生産調整水田も奨励補助対象となります。

▼生産調整目標数量の算出(350トン)

過去3ヵ年の平均売渡実績数量割(50%)と44年度農業共済生産量割(50%)から算出(一部売渡実績のない農家にもご協力をお願いします。)

▼政府買上げ限度数量の算出(594トン)

過去3ヵ年の平均売渡実績から今年度生産調整目標数量を減じたものが売渡限度数量。

▼生産調整奨励補助金対象水田の条件

1. 昭和47年度に水稻の作付が可能な水田。
2. 昭和44年度に水稻の収穫後水田から造成された普通畑、樹園地、草地または林地、および養漁池または農業生産に必要な施設の敷地。
3. 以上の水田があつて次の要件をみなす水田等であること。
 (ア)昭和44年度に水田であつて、稲の作付が行なわれたもの。
 (イ)昭和47年度に1枚を単位として稲の作付が行なわれないもの。
 しかし仮畦畔によって仕切られている場合、調整水田の面積は原

則として1アール以上なければならない。

(ウ)昭和47年11月30日現在において、農用地、林地、養漁池または農業生産に必要な施設の敷地であること。

生産調整目標数量及び
事前売渡限度数量

部落名	生産調整 数量	売渡限度 数量	部落名	生産調整 数量	売渡限度 数量
注連指	19,266	41,010	茶屋広	2,892	4,500
田口	18,471	36,750	川口	12,251	21,450
麻加江	10,251	17,850	栗原	7,305	7,740
坂井	3,877	5,040	中之郷	9,397	15,150
長原	6,629	6,270	日向	11,117	16,110
立花	6,600	10,650	五ヶ町	5,511	11,160
鮎川	4,517	6,540	小川	12,419	23,850
立岡	2,856	6,390	火打石	5,183	7,770
大久保	4,156	6,150	駒ヶ野	8,948	14,490
平生	10,582	16,290	小萩	10,702	18,810
牧戸	13,375	23,670	柳	9,762	17,730
棚橋	10,929	15,480	市場	9,004	16,320
大野木	12,842	17,430	脇出	7,384	13,740
葛原	11,562	16,830	和井野	27,095	48,180
下久具	6,671	10,320	南中村	46,318	89,490
上久具	5,722	8,400	川上	6,214	11,820
田間	3,549	6,540	売渡実績 のない 農家配分	4,000	—
当津	2,822	4,080	合計	350,179	594,000

新区長決まる

字名	氏名	就任
注連指	中山 保衛	47、4、1
田口	小谷 順一	(ア)
麻加江	亀田 栄一	(ア)
坂井	鈴木 捨松	(ア)
長原	南 那太郎	(ア)
立花	奥井 満	(ア)
鮎川	井倉 重郎	(ア)
立岡	山本 一三	(ア)
大久保	森本 文夫	(ア)
平生	中西用次郎	(ア)47、3、1
牧戸	下里 儀三	(ア)47、4、1
棚橋	田畑 栄藏	(ア)
大野木	山下 孫一	(ア)
葛原	杉井 次生	(ア)
下久具	青木 孝男	(ア)
上久具	中田二三男	(ア)
田間	岡村 喜由	(ア)
当津	尾崎 宮次	(ア)
茶屋広	河村周二郎	(ア)
川口	久保田克己	(ア)47、4、1
栗原	西井 弘和	(ア)
中之郷	久保 勝	(ア)
日向	荻田 嘉隆	(ア)
五ヶ町	中川 幸彦	(ア)
小川	岡出 務	(ア)47、2、1
火打石	山本 始男	(ア)47、4、1
駒ヶ野	杉山 久雄	(ア)
小萩	作野 耕治	(ア)47、1、1
柳	奥村 平一	(ア)
市場	小林 文平	(ア)
脇出	山本 鉄夫	(ア)
和井野	田畑 悟	(ア)
南中村	中西国太郎	(ア)
川上	御村 賢	(ア)

奨励補助金の種類、補助額

種類	補助額	対象期限
休耕奨励補助金	45年度基準収穫量×調整面積×1畝当り68円加算	48年度までの3年間
普通転作奨励補助金	休耕奨励補助金額へ10アール当り5,000円加算	50年度までの5年間
特別転作奨励補助金 (永年性植物への転作)	休耕奨励補助金額へ10アール当り10,000円加算	50年度までの5年間、ただし45年度に植付けた場合49年迄
特別転作奨励金 (養漁池、農業生産に必要な施設)	休耕奨励補助金額へ10アール当り5,000円加算	実施した年から3年間、ただし50年まで



三代三夫婦を先頭に渡橋……

長年の悲願実る はなやかに渡橋式

鮎川と茶屋広間の宮川をまたぐ農免道路「鮎川大橋」の渡橋式は、去る2月8日午前10時半から小沼農林省東海農政局長、渡辺県耕地課長はじめ近接町村長ら来賓と地元関係者約300人が出席して盛大に行なわれました。

打ち上げ花火を合図に鮎川側橋詰めに張られた紅白のテープを東海農政局小沼局長、県耕地課渡辺課長、濱岡町長の3人がカット、続いて内城田小学校鼓笛隊約50人が勇ましく演奏する中を、大久保の山本清六さん(73才)妻たまさん(70才)、長男の清治さん(47才)、妻志ずさん(46才)、孫の清六さん(23才)、妻峰子さん(23才)の三代三夫婦を先頭に出席者が鮎川大

橋の渡りぞめを行ない、青や赤の風舟を持って渡りぞめを祝いました。

この事業は、県の揮発油税財源見返り農道整備事業として44年度から3カ年計画で工事を行なったもので、農免道路は鮎川大橋を含めて延長971メートル、幅6メートルの基幹農道で、鮎川側52メートル、茶屋広側557メートルの道路で鮎川大橋と結んでおります。鮎川大橋は延長151メートル、幅5メートルのトラス橋で、橋台、橋脚各2基の下部土は伊勢市の日本組、トラス2スパンの上部工は日本鋼管名古屋営業所の施工で、工費は約7,000万円です。路を含めて1億800万円余を費しここに長年の悲願が立派に実ったものです。



受給権を確保しよう

納め忘れの保険料を 納めましょう

国民年金の保険料は、きめられた納付期限から2年をすぎますと時効で納められなくなり、将来年金を受ける時に大変不利になるばかりでなく、年金が受けられない場合も生じてきます。

特別納付の期限も あと3ヶ月

このため、このような人達を救う特別措置として45年7月1日から47年6月30日までの間に限って1ヵ月につき540円で納めることができるようになっていますが、この特例もあと3ヶ月目を残すのみとなりました。国民年金の老齢年金はたとえ1ヵ月でも保険料の納付期間が不足するともらえません。また、思わぬ事故などで支給される母子年金や障害年金なども保険料がキチンと納めてあることが条件になります。

未加入者はおりませんか

みんなが年金を!!

このような人は必ず加入を/20歳から60歳までの人で厚生年金や共済組合などの年金制度に入っていない人(強制加入者)

もしこのような方がおられましたら今すぐ加入され、保険料を納付して下さい。

とくに高年齢の方は早急に加入の手続きをとられるとともに、すでに時効消滅している期間にかかる保険料についても、今なら特別に納められます(47年6月末まで)ので納めて満額の年金がうけられる権利を確保して下さい。

受付は、町役場住民課で行なっています。

人事異動

どうぞよろしく申し上げます。

■異動 (発令、昭和47年4月1日付)

- 【総務課へ】 竹内利夫(住民課)、
- 【住民課へ】 藤田芳夫(産業課)、
亀田達(伊子雙連森)、西村嘉子(豊勢小)、
- 【税務課へ】 繩手一郎(産業課)、
- 【産業課へ】 西村良子(土木課)、
大野幸茂(豊勢小)
- 【土木課へ】 世古幸枝(産業課)、
- 【棚橋保育所へ】 西村敦子、清水幸子、北村みなゑ(長原保)、橋本よしゑ(内小用務員)
- 【長原保育所へ】 藤井幸子、北村敦子(長原保)

【教育委員会へ出向】 中村美行(豊橋)

【第一連絡所へ】 真瀬美佐尾(豊橋)

■新採用(発令、昭和47年4月1日付)
堀之内美津子、北村征二郎(教育委員会へ出向)

■退職(発令、昭和47年4月1日付)、
辻井清子(住民課)

尾崎起巧(渡舟夫47.3.31日付)

教職員の異動

(発令、昭和47年4月1日)

(内城田小)

退職 伊藤台久
転入 池山美智子(宿田曾小より)
転入 田端勝己(磯小より)

(中川小)

退職 校長東谷周次
転出 南 衛(田丸小へ)
転入 校長上村誠太郎(南島西小より)
転入 池山義孝(浜島小より)

(一之瀬小)

転出 校長落合卯助(豊浜中へ)
転出 神森正春(矢持小へ)
転出 中野美幸(矢持小へ)
転出 岩見勝代(港中へ)
転入(校長昇任)森 俊一(厚生中より)
転入 早崎多美子(相賀小より)
転入(養護教諭)田牧真佐子(新任)
神森美子(小川郷小より)

(小川郷小)

転入 西田文子(島津小より)

内城田中)

転出 前田 豊(二見中へ)
転出 松葉佳子(豊浜中へ)
転入 中西清二(南島小より)
転入 中岡 徹(和具中より)
転入 大西美美子(名古屋小より)
森見清隆(小川郷中へ)

(中川中)

転出 校長佐藤周作(沼木中へ)
転出 掛橋 保(滝原小へ)
転出 吉田五十男(二見中へ)
転入 校長大北友夫(的矢小より)
転入 中村輝彦(南島西小より)
転入 久納久治(勢和小より)
転入 田中庄司(新任)

(小川郷中)

転出 大北喜代寿(倉田山中へ)
転出 水上郁子(七保第二小へ)
転入 野呂重秋(南海中より)
転入 齋藤幸次(豊浜東小より)

ペンリレー ②④

教育の道ひとすじに生きぬいた私も、学校を退いて早や一ヶ年、幸にも健康にめぐまれ、皆様からいたゞいたご指導「ご厚情を心の支えとし」どうか今日までなれぬ畑仕事や山そうじに感謝の日を過ごしています。

さてこのたび「広報わたらい」のペンリレーにご指名をいただいたもの何を書こうやら判らぬままにペンをとりました。

私は我が国哲学の権威者西田幾多郎先生の「フランス革命と民主主義」に話された次の言葉こそ、感銘深く、いまもって忘れることはできません「フランスの民主主義には三つの旗印があります。それは自由であり、平等であり、博愛なのです。

しかし、それにはちゃんと裏づけがある。即ち自由のうしろに責任があり、平等の背後に差等あり、博愛のかけに懲罰がある。単に表面だけの自由、平等、博愛ではだめで、そこまでいかないと本当の民主主義はない」と今でも

教師を去って考えること

大野木山下 孫一

(農業・58才)



私はこの説の正しさを信じつつ、この考え方を私の人生哲学の柱としています。このような観点から今の日本の世(相をみれば、反省すべき所があまりにも多いことに痛感されます。

それは赤軍派＝リンチ殺人事件など最近の青少年の非行傾向は、漸次集団化、低年齢化し、しかも暴力化の様相を示し青少年福祉が叫ばれる今日、誠に残念でなりません。私たちは非行問題の子があると「あれは鍵っ子だから」ときめつけていますが、決して鍵っ子が悪いのではなく、むしろその子が心の鍵っ子であることを恐れるものです。

この激動する時代を生ぬく子供に、私は静かに独りで思索する、たくましい、自主創造の心を育てることの大切なことを信じ、独居の体験をさせ、弱い心の鍵っ子をつくらぬよう改めて本家の家庭教育とはどうすべきかみんな

で考えねばならないと思います。過保護現象に溺れる家庭教育に、少々の過ちは恐れず、むしろこのことを生かし、子供がたくましく健全に育つよう愛情ときびしさを家庭教育の中刻とし社会環境の浄化につとめることこそ、私たち親の責任であり、社会全体の義務ではないでしょうか。本県ではこのたび青少年の保護条例が青少年健全育成条例と改正され、去る3月1日から施行されました。私たちは後継者たる青少年の育成のため、広い視野にたち、あたたかい親心をもって1人の非行青少年のない幸せな町にしたいものと祈つてやみません。

次号は山下さんのご指名により古森多津子さん(中之郷)をお願いする予定です。

入学おめでとう

入学児童を掲載し
お祝い申し上げます。

【内城田小学校】

- 葛原＝谷口昇(浩)、松田憲治(潔)、植木尚子(義明) ●大野木＝山下佐喜男(勝吉)、中世古照子(俊治)、若宮俊之(弘和)、東出隆幸(隆昌)、中津佳子(智美)、福井里佳(金次)
- 棚橋＝上井正次(登)、山本幸秀(幸正)、前田寿美子(年弘)、大西幸司(賢一)、大西齊博(ふさ)、大西正志(幾雄)、榎本佳津(楠五郎)、中村和人(富一)、山北仁美(透)、杉山太(福男)、坂谷剛(行弘)、濱口由美子(昭男)、岡山元昭(佳正)、岡村隆弘(隆夫)、奥田育子(純夫)、才迫邦子(吉彦)、藤井千秋(一己)、川井康久(慎一)、中村加奈(賢吾)
- 牧戸＝下里裕成(和弘)、清水千賀(浩)、井戸本美子(萬一)、中西完(政行)、●平生＝野田和美(重三郎)、田畑敏子(俊作)、●大久保＝坂本多

津美(安正)、有滝明美(能夫)、小林典仁(敏男)、●立岡＝丸屋久美(欽三郎) ●鮎川＝世古佳代(幸司)、馬瀬泰美(章)、井倉宏(重郎) ●当津＝尾崎えり子(和也)、●田間＝岡村和行(保夫)、●上久具＝西川規三子(哲也)、藤田直(定)、野原弘明(良男)、

【中川小学校】

- 注連指＝広富治(修一)、東谷泉(二三男)、中山直紀(正)、世古正明(ミスエ)、●田口＝喜多雅子(寿一)、山根由美子(ふみ代)、山根義春(和男)、山根はる美(良平)、山根道明(治)、奥野勝也(幸宏)、山下泰弘(忠夫)、森田貴浩(孝)、●麻加江＝中井伸治(襄)、山口春彦(寛)、世古恭子(通郎)、中村圭男(幸二)、藺孝明(四郎)、●坂井＝高橋多美(喜久男)、相馬進(友八)、奥野明美(宮夫)、●長原＝北村敦子(勤)、北村芳男(昭輔)、松葉章(勇)、中西久幸(清美)、大西孝明(文一)、羽根秀美(来)、

【一之瀬小学校】

- 南中村＝山下喜市(喜代一)、中西淳(進)、山下幸伸(悟)、長谷川敦代(惟夫)、小林美咲(進)、井口明律(佐七)、御村一真(堅一)、山下昌芳(忠男) ●和井野＝田畑美穂(政治)、●脇出＝神森春美(壽)、神森正樹(正春)、●市場＝高橋美恵(堂之)、●柳＝作野吉治(英治)、西川柳二(武嗣)、奥田修子(久昭)、●小萩＝前田洋恵(楠吉)、作転幸孝(徳一)、

【小川郷小学校】

- 駒ヶ野＝鈴木光宏(逸男)、亀田勝也(辰美)、西野美喜(喜三雄)、●火打石＝服部久美子(幸朗)、服部美恵(利治)、●小川＝奥野智子(可頌)、山本真知子(喜代三)、西村尚人(毅)、井上正彦(秀夫)、●五ヶ町＝浦井喜久美(幹雄)、●日向＝岡山尚士(瑞穂)、岡出清之(関男)、●中之郷＝橋本頼子(延太郎)、●栗原＝西井勇人(弘和)、古森あゆみ(隆)、荻田享(秋義)、伊藤敦子(作藏)、小野浩美(栄士)、●川口＝杉本隆夫(一夫)、久保田圭一(登男)、

町のスポット

中学校卒業生

165人の動向

高校進学率76%に

今年の町内中学校の卒業生は、内城田中60名、中川中38名、一之瀬中38名、小川郷中29名をあわせて165名です。そのうちわけは、高校進学者が126名で全体の76%、就職者は34名、各種学校就職者5名となっております。

高校(全日制)進学者

中学校別 進学校名	中学校別				計
	内城田 中学校	中川 中学校	一之瀬 中学校	小川郷 中学校	
伊勢高校	4	1	1	1	7
宇治山田高校	6	3	2	2	13
宇治山田商業高校	7	2	5	0	14
伊勢工業高校	4	2	7	4	17
明野高校	1	2	6	8	17
明野高校度会分校	13	10	7	4	34
相可高校	0	6	0	0	6
松阪工業高校	1	0	0	0	1
鈴鹿工専	1	0	0	0	1
松阪女子高校	1	0	0	0	1
三重高校	0	0	1	1	2
皇学館高校	3	0	0	1	4
伊勢女子高校	2	0	3	1	6
水産高校	0	1	0	0	1
天理高校	0	1	0	0	1
樟蔭高校	0	1	0	0	1
合計	43	29	32	22	126

大野木青年会が

桜 200本を植樹

自然保護については、最近各市町村でも関心が高まっていますが、ご承知のように本町は山林や原野が全体の85%を占め、2、3年ほど前から“庭石ブーム”を反映して自然破壊が表面化してきましたが、本町の大野木青年会(会長山下博三氏外会員25名)では

橋本総務課長

自治功労者の受賞に輝く

町事務史員、橋本 敬氏(中之郷)は、このほど全国町村会長から史員在職25年以上の自治功労者として受賞の栄を荷われました。

同氏の今日の栄誉は偏えに多年に亘り、地方自治進展に貢献された賜であり、そのご労苦に対し深甚なる敬意を表すするとともに、ここに謹んで御祝詞申し上げたいと思います。同氏は、現在勤続26年で現在町総務課長を拝命。



母子健康センター だより

* 4月の検診
 ※ 妊産婦検診
 いづれも同センターで
 4月5日(水曜日)
 4月12日(水曜日)
 4月19日(水曜日)
 4月26日(水曜日)
 午後2時~3時まで
 ※ 乳幼児検診
 同センターで
 4月15日午後2時~4時まで
 <対象地区>
 一之瀬、小川郷地区と
 内城田地区の棚橋、下
 久具、上久具、田間、
 当津、茶屋広

“自然を守ろう。
 と立あがり、この
 ほど吉野桜2年生
 (200本)の植樹
 祭が去る3月26日
 河津地内の堤に、
 大野木区長、会員
 をはじめ、町長も
 出席して小雨の中
 記念の植樹祭を祝
 いました。



記念植樹する浜岡町長

戸籍の窓

<2月中に届出のもの>

【生まれた人】

子の名	続柄	父の名	字名
徳力正恒	2男	治平	田口
森本陽子	長女	孝行	長原
浦井 忍	長女	總	大野木
山本 清美	二女	善夫	葛原
坂井清晃	長男	正男	日向
南 昌幸	長男	仁	長原
岡村佳代	三女	三四郎	棚橋
山北佳代	五女	喜三郎	平生
牧 典子	長女	増見	立岡
浦井高司	長男	幹雄	五ヶ町

【亡くなった人】

木村 きよ (74才)	駒ヶ野
鳴川 まさ (72才)	川 口
森本忠太郎 (69才)	長 原
杉山伊之助 (84才)	駒ヶ野
小森きくゑ (61才)	川 上
服部 かの (71才)	火打石
中井こす江 (87才)	長 原
山口多津子 (20才)	田 口
山下節次郎 (71才)	南中村
牧田安兵衛 (78才)	栗 原

<3月中に届出のもの>

【生まれた人】

子の名	続柄	父の名	字名
藤田めぐみ	長女	心作	当津
馬瀬 勤	二男	守	鮎川
奥野 登	二男	道弘	小川
浅井利香	三女	藪雄	南中村
椿 和晃	長男	晃	棚橋
山本友美	長女	武	上久具
中山美佳	長女	保	注連指

【亡くなった人】

中西 たつ (78才)	牧 戸
世古鹿太郎 (78才)	鮎 川
高橋すみの (57才)	市 場
中西 いは (86才)	上久具
山下 健蔵 (60才)	大野木
井上 歳一 (27才)	南中村
米田 源右衛門 (79才)	葛 原
福井 定 (76才)	大野木
小川 吉蔵 (85才)	中之郷
中西 志ず (67才)	田 口
岡山幸太郎 (77才)	日 向
繩手 七郎 (55才)	注連指